

**DWFA**

**流動床サンドクーラ**

## 流動床サンドクーラ DWFA シリーズ

ドイツJöst社製流動床サンドクーラは、高温の回収砂を冷却する目的に使用され、通気性のある振動コンベア、固定式排気フード、注水ユニット、ファン、制御盤で構成されています。

流動床内で水分が蒸発する際に発生する気化熱を利用して、回収砂を効果的に冷却します。温度と処理量に応じて加水量を正確に制御し、冷却後の回収砂の水分値を調整します。

### 特長:

- 回収砂の水分値にかかわらず、冷却後の砂の最終水分値は 1.6-2.2%±0.4%と安定した値に調整が可能
- 連続運転によって砂が流動し、良質で均質な砂性状となる
- コンパクト設計で高い冷却効果と省エネを実現
- 砂投入量を自動制御
- 砂投入量の変動(処理能力の40%~100%)しても、処理量調整を行うことにより連続運転が可能
- 既存プラントへの導入が容易な供給ホッパー一体タイプ (オプション)
- 主要機器機能エラー分析機能付きPLC(LCD モニター付)による工程制御
- 消耗部品がほとんどなく、メンテナンスを軽減
- クーラ投入口内に砂層均質化装置を装備

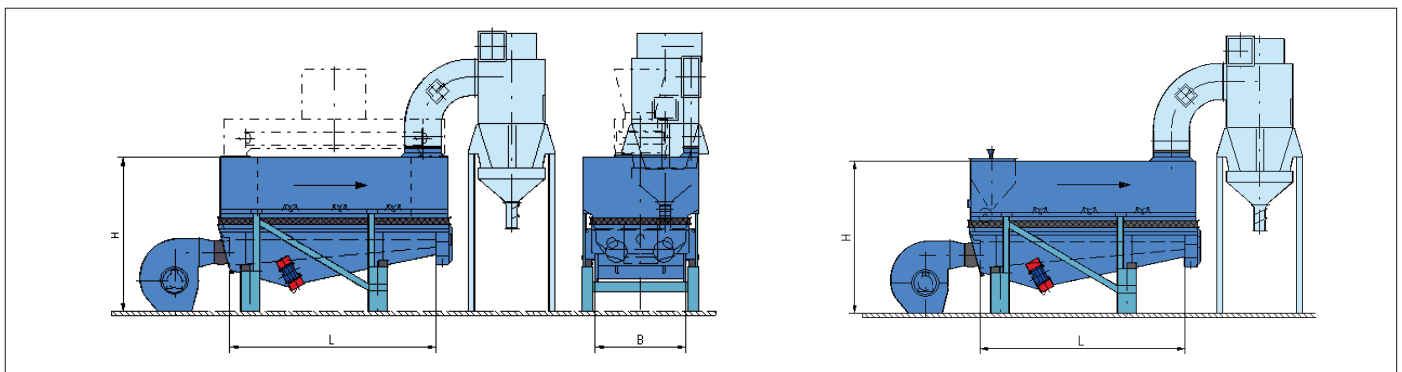
### オプション:

- 外付け高温砂貯槽:  
正逆転可能なスピード制御機能付き搬出ベルト付属
- 水分調整装置とモニター:  
排出口への最終水分計付属
- サイクロンセパレータ:  
ゴムライニング吸入ダクト、空圧式ダブルフラップバルブ仕様
- 自動空気循環制御装置:  
冬季の砂温低下予防
- ベントナイト添加装置:  
ミキシングスクリーンコンベア上の冷却砂へ添加
- 旧式クーラのアップデート:  
最新処理能力、水分調整機能アプリケーション

## 流動床サンドクーラ DWFA シリーズ ラインアップ

型式	W	x	L	モータ 型式	処理量(t/h)			必要水量 最大(l/h)	吸気量 (Nm <sup>3</sup> /h)	排気量 (Bm <sup>3</sup> /h)	サイクロン 型式 (オプション)
					120℃ -40℃	100℃ -40℃	80℃ -40℃				
DWFA	1750	x	4000	JV 178	55	63	76	2300	12250	16100	Z 1300
DWFA	1750	x	4400	JV 178	60	69	84	2500	13500	17700	Z 1300
DWFA	2100	x	4000	JV 208	66	76	91	2750	14700	19300	Z 1450
DWFA	2100	x	4800	JV 208	79	91	108	3300	17600	23100	Z 1550
DWFA	2100	x	5600	JV 208	92	107	125	3600	20600	27000	Z 1650
DWFA	2500	x	5600	JV 248	110	126	148	4650	24500	32100	Z 1850
DWFA	2500	x	6400	JV 248	125	145	169	5300	24900	36600	Z 2050
DWFA	2500	x	7200	JV 278	142	163	190	6000	31600	41400	Z 2050
DWFA	2500	x	8000	JR 408	157	182	215	6650	35100	46000	Z 2300
DWFA	2500	x	8000	JR 608	173	199	230	7300	38500	50500	Z 2300
DWFA	2500	x	9600	2 x JR 608	197	229	260	8350	44500	58000	Z 3000
DWFA	2500	x	11200	2 x JR 608	230	267	303	9750	52000	65600	Z 3000
DWFA	2500	x	12800	2 x JR 608	262	305	346	11100	59599	77500	Z 3000

※ 上記データは、吸気温度18℃の場合の参考値です。



【日本総代理店】



日本アイリッヒ株式会社

〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

Tel:052-533-2577 Fax:052-533-2578

Email:eigy@nippon-eirich.co.jp http://www.nippon-eirich.co.jp